

荒川区の保育

0才児の保育時間延長を求める陳情採択したが
具休化した内容など未だに議会にも示さないまま？

●H31年度ゼロ歳児1.1時間保育実施予定状況

平成11年度で最も先生1人平均休日超過は怎麽			
エリア	区立園	私立園	計
南千住	0	4	4
荒川	2	0	2
町屋	1	1	2
東尾久	0	0	0
西尾久	0	0	0
東日暮里	1	1	2
西日暮里	1	0	1
計	5	6	11
全体に占める割合	5/12 (41%)	6/38 (15%)	11/50 (22%)

※東尾久、西尾久エリアは実施予定園なし
豊田区の子育て環境を考える会の資料より

ゴミ減量はいまどこまで
一人当たりの排出量の推移は…

先日、荒川区清掃審議会で区の「ごみ減量」計画の進捗状況が報告されました。目標に対して総排出量は、96%で可燃ごみ、不燃ごみは年々減少しているようです。資源回収量は、出発点の2010年の160gから毎年減少しています。ゴミ減量への各家庭の取り組みとともに、やはり、生産者が廃棄・リサイクル段階まで責任を持つ「拡大生産者責任」の一層の徹底が求められます。

区民一人当たりの一般廃棄物排出量推移				
年度	2016年	2017年	2018年	2021年
総排出量(g)	目標 864	844	822	800
実績	835	828	817	
総ごみ量(g)	目標 684	664	632	600
実績	701	695	673	
資源回収量(g)	目標 180	180	190	200
実績	134	133	144	
リサイクル率	目標 21.0%	21.3%	23.1%	25.0%
実績	16.1%	16.1%	17.6%	
総排出量 = 総ごみ量 + 資源回収量				
2021年が現計画の目標年、2018年実績は目込み				

2021年が現計画の目標年 2018年実績は見込み

今週の
データ 増税対策は「まやかし」そのもの…
10%増税は中止させるしかありません

光熱水費・社会保険料は増加していると指摘(図)。「」のよきな単身者に増税対策の恩恵はあるのか」と追及。政府もこの事実を否定できませんでした。

勤労・単身者（年収200万～300万円）
1カ月あたり支出



2018年 実支出17万0159円

荒川区はどの不満の保育問題を見直しませんでした。しかかも23区でゼロ歳の標準保育を実施していないのは、荒川区だけとなっていました。

そんな中、関係保護者が荒川区の子育て環境を考える会を立ち上げ、保育時間の延長を求めるウェブ署名30000を区議会提出しました。

2015年度から「子ども子育て新制度」となり、フルタイムで働く家庭の標準保育時間は11時間としましたが、

荒川区の認可保育園は、0才児（1才の誕生日まで）の保育時間を一律8時30分から17時までとしていました。

ゼロ歳児受入園のすべてで実施できるようになります
新年度から全地域で実施するための緊急対策を求めます

入園案内には記載なし
しかし、昨年秋に配布され
た入園案内に記載もなく、議
会にも具体化の報告もないま
までした。

要が高いくはすての不思入り園のすべてでやるのが当然で、保育士の確保も含め、そのための準備をすすめるべきと求めてきました。

荒川区は2019年4月から時間延長を行うと表明、当初は公立園で6ヶ月園から開始すると答弁していました。

区議会本会議で陳情書は、ほぼ全会一致（反対1名）で採択されました。

左上の実施予定一覧は、荒川区の子育て環境を考える会のみなさんが各園に電話して独自に調査した結果です。現状すらホームページ上に公表しない区の対応は大問題です。

陳情を採択した議会の責任も問われており、予算特別委員会でも追及していきます。

議会が陳情採択しているのに、あまりにも不誠実です。すでに荒川区の子育て環境を考える会のみなさんが、荒川区に対して全地域での実施などを求める交渉を行い要望も提出しています。

4円を目前にして「9カ月児から」新入園児の園での面接時に必要の有無を聞き対応などと現場に話しているようです。

**自転車の交通事故が多い荒川区
路地からの飛び出しの出会い頭が最多です**



日本共产党の塙川衆院議員は、25日の衆院予算委員会で勤労単身者（年収別で最も数

響をうける消費税10%増税は、きつぱり中止して税制を見直すしかありません。

荒川区の交通事故全体は減少していますが、自転車の事故は増加しています。

その中で一番多いのが、路地などからの飛び出しによる「出会い頭」の事故のようです。町屋地域にも電柱に「自転車事故多発」と書いた警笛がつけられています。やはり、自転車も軽車両であり、一時停止が必要です。そのため交差点な

